

第2学年 道徳科学習指導案

平成30年10月31日(水) 第5校時

- 1 主題名 家族の絆 内容項目【C 家族愛、家庭生活の充実】
- 2 ねらい 家族とは何かを考え、話し合うことを通して、父母に対する敬愛の念を抱き、自分の家族を見つめ直し、家族の絆を大切にしていける心情を育てる。

教材名 「何だっていいんだあ」 (出典 『彩の国の道徳(中学校)自分をみつめて』)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

中学校の観点は、「父母、祖父母を愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと」とある。中学校学指導要領(特別の教科道徳)によると、『多くの人はいずれかの家族の中に出生し、幼児期までは家庭を生活の場の中心として大半をそこで過ごす。家庭は、その後もそこから出かけていき、そこへと戻る安心できるよりどころとなる場所であり、子供を守り育てる教育の場所である。家庭は、家族と共同して生活しながら、社会の一員として正しく行動しうるための準備が行われる場所でもある。しかし家庭は、人間関係の緊密さなどを発端として生じるいさかいやトラブルなどによって、子供がゆがめられる危険性が潜む場所でもある。今日、家庭を取り巻く状況も様々であり、その姿は一様ではないが、その家族を構成する成員相互の温かい信頼関係や愛情によって互いが深い絆で結ばれていることが大切である。』とある。

中学生の時期は、自我意識や自立への意欲が高まるため、親の思いや忠告を素直に受け入れられないことも多い。また、核家族化により人間関係も希薄になり、親子の対話も少なくなる中で、人間関係の機微を学んだり、家族の連帯感を感じ取ったりする機会も少なくなっている。家族は、人間の基本的な生活集団のひとつである。現代の家族のあり方は一様ではないが、これからは、家庭を形成している一員として、子どもの視点だけでなく、家族それぞれの立場になって考えられるよう、多面的・多角的に捉えることができるようになること、また、成員相互の温かい信頼関係や愛情によって互いが深い絆で結ばれているという自覚を持つことが大切である。本授業を通して、家族とは何かを考え、話し合うことを通して、父母に対する敬愛の念を抱き、自分の家族を見つめ直し、家族の絆を大切にしていける心情を育てる。

(2) 生徒のこれまでの学習状況及び実態について

【家族愛・家庭生活の充実】に関しては、小学校低学年で「父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つこと。」、中学年で「父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭を作ること。」、高学年で「父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをすること。」を学習してきた。また、中学1年生では、「とつげき家族」を教材として、「家族に感謝し、より充実した家庭生活を築いていこうとする心情」を学習してきた。

今回学習する内容項目【C 家族愛・家庭生活の充実】は、第2学年では、10月「何だっていいんだあ」で学習していく。現時点での生徒の実態を把握するため、次のようなアンケートを行った。

(平成30年9月4日(火) 実施 調査数35名)

1、あなたは、「家族っていいな」と思ったことがありますか。

はい 31人
いいえ 4人

2、はいと答えた人はどんなときにそう思いましたか。また、いいえと答えた人は、どうしてそう思うことがなかったのですか。

はい
・一緒にいて、話しているときや笑いあっているとき
・相談に乗ってくれて、励ましてくれたとき
・欲しいものを買ってくれたとき
・自分の好きなことをさせてもらっているとき

いいえ
・よく睨まれたりする
・いいなと思うような経験をしたことがない

アンケート結果を見ると、多くの生徒が、「家族っていいな」と思ったことがあると回答しているが、思ったことがある、という回答の理由に、「一緒にいて、話しているときや笑いあっているとき」、「欲しいものが買ってもらえる」等、家族への思いに生徒間で差が見られた。今回の話合いを通して、家族とは何かを考え、話し合うことを通して、父母に対する敬愛の念を抱き、自分の家族を見つめ直し、家族の絆を大切にしていける心情を育てていきたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、「何だっていいんだあ」が口癖の、家族に無関心な父に距離を感じている「ぼく」が、父の本当の思いを知り、家族との絆に気付くという教材である。「ぼく」には高校受験を控えた姉がいたが、父は姉に対しても無関心で、姉と父との距離もどんどん離れていく。しかし、姉の高校受験合格を祝う席で、父が「良かったなあ。」と涙を流したとき、姉や受験についての父の思いを知る。そして「ぼく」も、家族は自分にとってどのような存在なのかを自覚する。「ぼく」や姉、父の心の内を考えながら、家族との絆について考えられる教材である。

この教材を通して、本時では、以下の3つの発問を中心に、ねらいに迫っていく。

- ① 姉の高校受験にも無関心な父に対して、「ぼく」と姉はどう思ったかを考えさせ、その時点での父への思いをおさえる。
- ② 家族4人で泣いた場面で、父の本心が伝わったことで、家庭がひとつになったことをおさえる。
- ③ 「何だっていいんだあ」に込められた父の思いを考え、「ぼく」や姉の、「何だっていいんだあ」に対する気持ちの変化に気付き、家族の愛の形に気付かせる。 以上のことから、本主題を設定した。

4 学習指導過程

段階	学習活動・主な発問	予想される生徒の反応・発言	指導上の留意点(・) 評価の視点(☆)	時間
導入	1 アンケート結果を知らせ、道徳的な問題を見つける。 ・「家族っていいな」と思ったことはありますか。 ウェビングマップを記入する。		☆道徳的な問題を明らかにすることで、どの生徒も同じように課題意識を持たせるようにさせる。 (発言・表情)	5分
	2 本時の課題を提示する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">課題：家族って、何だろう？</div>			
	3 条件・状況の説明をする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> 主人公・ぼく ・「ぼく」の父は、家族にはまったく無関心で、口癖は「何だっていいんだあ」。 ・「ぼく」には高校受験を控えた姉がいた。父に受験の相談をしたが、それに対しても「何だっていいんだあ」。父との心の距離を感じてしまう。 ・しかし、父には、姉の受験や家族に対して、父なりの思いがあった。 </div>		・登場人物、条件・状況についておさえる。	35分
	4 読み聞かせを行う。 5 道徳的価値の本当の意味について話し合う。 (1) 家族や姉の受験に対して無関心な父を、「ぼく」と姉はどう思ったか。	(ぼく) ・家族の大事な話でも、無関心なのか…。 ・父親としてどうなんだろう。 (姉) ・ちゃんと答えてほしかったのに…。 ・父親失格。	・P.61, L.10まで読み、発問(1)にうつる。父の本意を知る前に、「ぼく」と姉は父に対してどのように感じていたかをおさえる。 また、最後まで読んだあと、「ぼく」や姉、父の気持ちに着目し発問(2)、(3)を進める。 ・無関心な父に対する「ぼく」の父に落胆した気持ちと、姉の怒りや悲しみを感じ取らせる。	

展開	<p>(2) 父の涙を見たとき、なぜ「ぼく」も泣いたのだろうか。</p> <p>(補助発問) なぜ、家族4人で泣いたのだろうか。</p> <p>「ぼく」、父、姉は、それぞれどんな気持ちでいたのだろうか。</p> <p>(グループになって、それぞれ思いについて話し合う)</p> <p>(補助発問) 家族4人が泣いた瞬間、家族の間に生まれた思いはどんなものだろうか。</p>	<p>(ぼく)</p> <ul style="list-style-type: none"> お父さんは僕たちをちゃんと心配してくれていたんだ。 <p>(姉)</p> <ul style="list-style-type: none"> ちゃんと見てくれていたんだ。 お父さん、ありがとう。 もっと分かりやすい行動をとってほしかったよ。 <p>(父)</p> <ul style="list-style-type: none"> お姉ちゃんが頑張ってきたことが報われて良かった。 ちゃんと見ていたんだよ。 自慢の子どもたちだから、大丈夫だとは思っていたけど、安心した。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常は無関心を装っている父だったが、心の奥底ではいつも見守り、心配していた本当の気持ちに気付いた場面をおさえる。 ☆「ぼく」、姉、父のそれぞれの視点から考え、友だちの多様な意見をふまえながら自分の考えを深めている。(ワークシート) 受験に直接関係ない「ぼく」も含め、家族全員で泣いた場面から、父以外が父の愛に気付いたことを感じ取らせる。 	
	<p>(3) 「何だっていいんだあ」に込められた父の思いとは？</p> <p>6 本時の振り返りとして、ワークシートに自分の考えを書く。ウェビングマップを赤で記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大きな愛 家族はかけがえのない存在 大切 絆 <ul style="list-style-type: none"> 見守っているから、自由にやらせてもらえ。 後悔しないことが一番。自分のために頑張れ。 子どもたちを信頼して、大きな愛で包みこんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 愛という言葉が出ると予測されるが、その愛とは具体的にどのようなことかを掘り下げる。 授業を振り返りながら、書く活動を通して、学習課題について考える。 ☆自分にとって、家族とは何か。(ワークシート) 	
末終	7 教師の説話		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の心にやわらかく届くように、余韻を残す。 	5分

5 他の教育活動等との関連

事前指導	朝の会で、生徒の実態を把握するためにアンケートを実施する。
道徳科	教材名「何だっていいんだあ」 家族とは何かを考え、話し合うことを通して、父母に対する敬愛の念を抱き、自分の家族を見つめ直し、家族の絆を大切にしていける心情を育てる。
事後指導	話し合った成果を掲示物にし、教室に掲示する。
家庭との関連	本時の授業内容や生徒の感想を学級通信等で紹介し、家庭でも「家庭生活の充実」について話題にしてもらう。

6 評価の視点

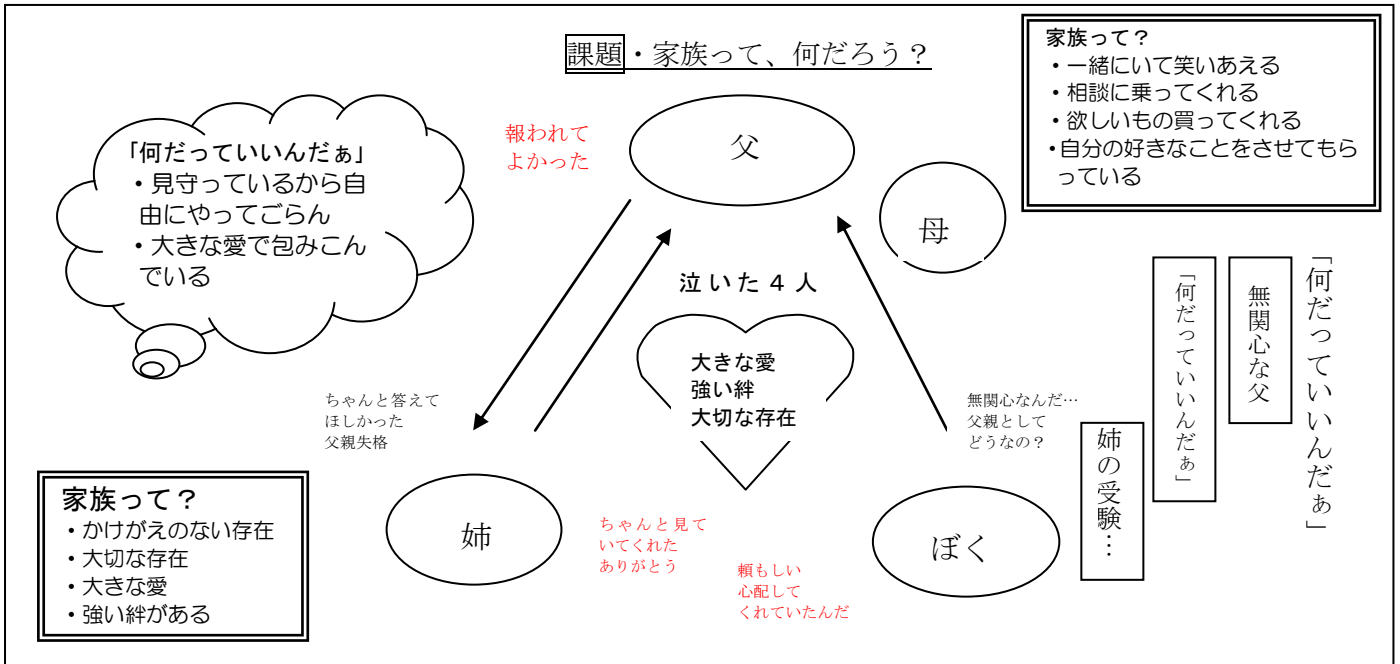
【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- 家族愛について、登場人物の心の内を様々な視点から捉え考えている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- 家族愛について、自分との関わりで考えている。

7 板書計画



8 資料

(1) アンケート

道徳アンケート

10月31日の道徳の授業で使用します。

自分の気持ちと向き合い、正直に答えてください。

1. あなたは、「家族っていいな」と思ったことがありますか。

はい

いいえ

2. はいと答えた人はどんなときにそう思いましたか。また、いいえと答えた人は、どうしてそう思うことがなかったのですか。

(

)

ご協力ありがとうございました！

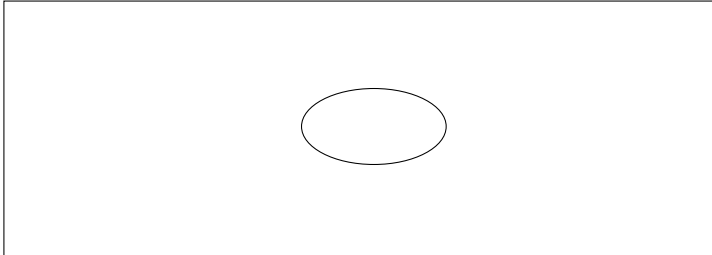
(2) ワークシート

() 月() 日() 名前()

資料名「 _____ 」

課題 【 _____ 】

ウェビングマップを書いてみよう。



この授業を通して、学んだことや感じたことは何ですか。
また、これからの生活にかاشていきたいことは何ですか。

- ① 自分の考えをもって話し合いに参加した。 A B C
- ② 友だちの考えを聴き、自分の考えを深めた。 A B C